

みんなの町議会



有害鳥獣を ジビエとペットフードに

| | |
|------------------|----|
| 決算質疑 | 4 |
| 一般質問 | 8 |
| どう活かす先進地視察 | 12 |

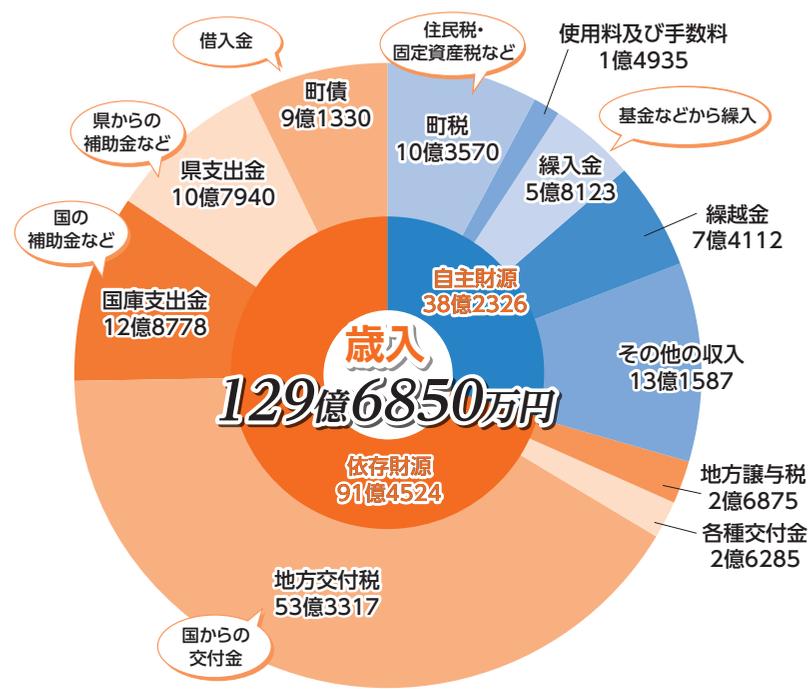
で決算認定

一般会計 **129億6850万円** (歳入)

9月
定例会

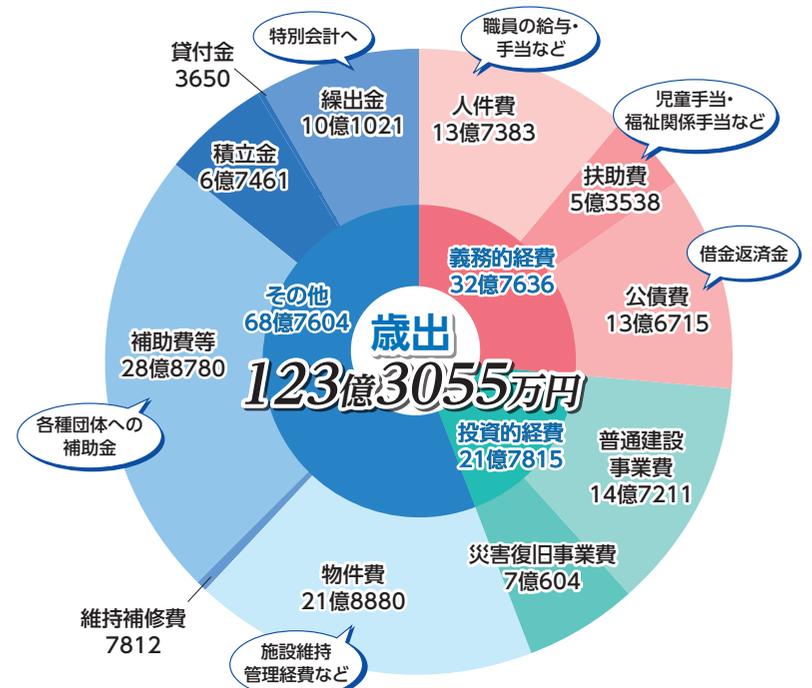
歳入

前年度比で、16億4950万円の減、率にして11.3%の減である。主な要因は、合併特例債や過疎対策事業債、臨時財政対策債など町債の減と災害復旧事業補助金など国庫支出金の減によるものである。



歳出

前年度比で、11億6631万円の減、率にして8.6%の減である。主な要因は、庁舎・病院建設・豊松支所の改修工事が完了したことによる建設費の減と平成30年7月豪雨災害の復旧完了による歳出減である。



9月定例会は、9月5日から9月26日まで開かれました。令和4年度の全会計を決算認定し、令和5年度の補正予算を含め32議案を審議し、すべて原案どおり可決しました。一般質問では、7人が町長、教育長に行政課題などについて質(ただ)しました。

(単位万円) (四捨五入)

令和4年度決算

一般会計 特別会計 を黒字

令和4年度決算

経常収支比率は78.3%、実質公債費比率は6.0%で昨年より0.4ポイント増となった。実質収支は黒字決算で5億7184万円を翌年度に繰り越す事業に充てるとともに、2億9000万円を財政調整基金に積み立てた。

基金総額は約118億1700万円の前年度と比較すると約4億3600万円、率にして3.8%の増となった。基金運用収益は約3600万円であった。

以上のことから、令和4年度の財政運営は健全かつ適切である。

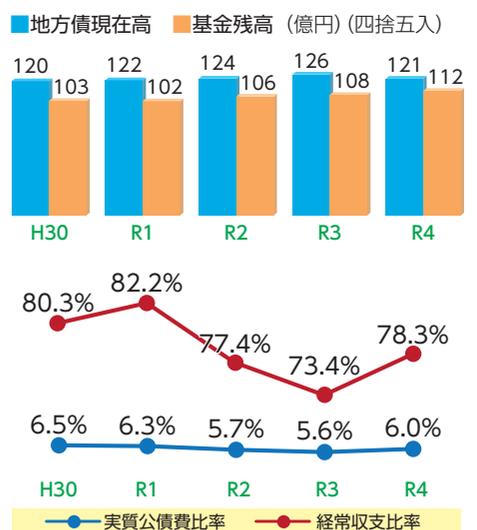
自主財源は29.5%依存財源70.5%となっており、引き続き危機感をもって行財政運営に努めていくことを望む。

令和4年度 各会計歳入歳出総括表

単位：万円（四捨五入）

| 会計名 | 歳入決算額 | 歳出決算額 | 繰越財源 | 差引残高 | |
|------|-----------|----------|---------|--------|-------|
| 一般会計 | 129億6850 | 123億3055 | 6611 | 5億7184 | |
| 特別会計 | 国民健康保険 | 10億1929 | 9億8180 | | 3749 |
| | 後期高齢者医療 | 3億6277 | 3億6118 | | 159 |
| | 介護保険 | 19億2155 | 18億7355 | | 4800 |
| | 簡易水道事業 | 3億4724 | 2億5561 | | 9164 |
| | 飲料水供給施設事業 | 4552 | 3863 | | 689 |
| | 農業集落排水事業 | 2億5767 | 2億4110 | 125 | 1532 |
| | 総合開発事業 | 314 | 314 | | |
| | 分収育林事業 | 6 | 6 | | |
| 企業会計 | 病院事業会計 | 5億7029 | 6億1262 | | △4233 |
| 合計 | 174億9602 | 166億9823 | 6736 | 7億3044 | |

決算指数の推移



※経常収支比率とは
財政構造の弾力性を表すもの。
(高すぎると新しい施策が出来なくなる。)
70~80%が理想とされる。

※実質公債費比率とは
町の収入に対する負債返済の割合を示す。
(18%以上だと借入に国・県の許可が必要)

令和4年度 決算質疑

総務課

久保田議員 業者の指名
停止期間を町内と町外事
業者で見直すべきでは。

総務課長 指名除外要
綱で国の基準に沿って対
応しているので、現在の
ところ、見直す考えはな
い。

未来創造課

地産地防推進事業

小川善議員 現在担い手
が取得している免許だけ
で「大型ドローン」「有
害鳥獣駆除」や「次世代
育成教育」などの各種事
業が行えるのか。

未来創造課長 「大型



大型ドローンでの輸送飛行実験

ドローン」や「有害鳥獣
駆除」はメーカーによる
実験を考えている。
担い手は、完全目視外
自立飛行など更に上級の
免許も視野に入れながら
訓練している。

子育て応援課

保育所施設整備事業

小川善議員 現在建築中
のこばたけ保育所の現場
打合せや監理に保育所職
員など立ち会わせる必要
があるのでは。

子育て応援課長 保育
所と調整を行いながら必
要な時には同席させる。

子育て援助活動支援

横山議員 ファミリー
サポートセンターの現況
は。

子育て応援課長 会員
登録状況は、提供会員が
4名、依頼会員は1名。
引き続き募集していく。

出産育児併走型支援

できれば委託業者があれ
ば委託していきたい。

横山議員 出産育児併
走型支援事業の内容は。

子育て応援課長 妊娠
届と出生届を出された方
に、併走型の子育て支援
として経済的支援を図る
ことを目的に、応援ギフ
トとして1人5万円を支
給するもの。
令和4年度は、妊娠時
が47人、出産時30人に支
給した。

福祉課

在宅介護支援事業

林議員 在宅介護支
援事業月5000円では
不十分ではないか。

福祉課長 給付額は近

健康衛生課

風疹抗体検査事業

隣市町を参考にしており、
経済的・精神的負担を軽
減するための取り組みだ。

小川善議員 令和6年度
がこの事業の最終年度と

なる。保有率90%を目標
にしているが取り組みは。

健康衛生課長 成人の
感染は重症化し、妊婦が
かかると胎児の心臓への
疾患となる場合があるの
で国が積極的にこの事業
を行っている。

職場検診などで風疹予
防の必要性などを呼びか
ける。



こばたけ保育所上棟式

やすらぎ苑施設経費

藤田議員 やすらぎ苑の業務委託を入札にしては。

健康衛生課長 県内の状況も見ながら今後検討していきたい。

飲料水確保対策事業

藤田議員 地元管理の飲料水給水施設の管理助成を増額すべきでは。

健康衛生課長 現在、増額は考えていないが、将来的には検討したい。

産業課

林業再構築プロジェクト事業

産業課長 積算根拠は、国が毎年示している非公共事業に係る森林作業道の標準単価、1m当たり2000円に基づいて積算している。

検査方法は、町が施工業者立会のもと、現地で延長、幅員、横断溝などを計測して、設計書と照合して検査をしている。



齋場やすらぎ苑

柏床議員 作業道補助金単価の積算根拠と検査の方法は。

建設課

道路維持費

柏床議員 既存町道のアスファルト舗装の長寿命化の予算実績は。

建設課長 平成26年度に、1・2級の町道約290kmの路面の状況調査を実施した結果、全体の59・6%の補修が必要との結果がでた。

令和4年度から、緊急自然災害防止対策事業債を活用し、町道の舗装の長寿命化に取り組んでいる。

令和4年度の実績は2600万円余、単独町費で小規模補修2000万円余の予算で取り組んだ。

介護保険特別会計

林議員 いきいきパワースタイルの成果と課題は。

福祉課長 町内4地区のデイサービスで筋力トレーニングを提供している。

87人が上半期、72人が下半期に参加した。6ヶ月後の体力測定で8割以上が改善または健康維持の結果となった。課題は継続的な参加環境整備である。

病院事業特別会計

久保田議員 旧町立病院の跡地活用は。

健康衛生課長 令和3年9月検討委員会で2案提案された。解体は5億円かかり財源的に困難であり、建物の一部を改修して利用できないか検討している。



道路維持

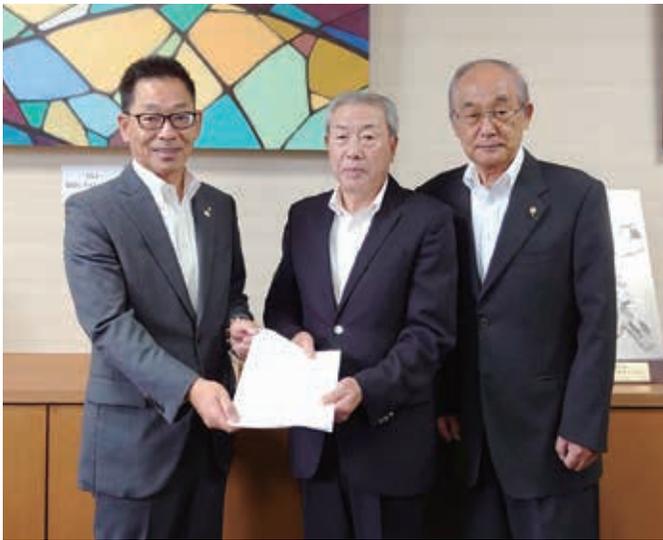


跡地利用を検討中の旧町立病院

令和4年度 決算審査意見書（抜粋）

令和4年度神石高原町各会計歳入歳出決算書、同事項別明細書、実質収支に関する調書および財産に関する調書は関係法令に準拠して作成されており、決算数値はいずれも関係諸帳簿等と符合し正確である。予算の執行は、適正である。

基金運用状況については、計数は正確であり、その運用状況は、神石高原町各基金条例の規定に基づき、目的に従って適正に行われている。決算にみる歳入財源内訳は、自主財源率が5.5ポイント改善しているが、財政基盤の脆弱な本町においては、なお一層効率的で健全な財政運営が求められる。



病院事業会計では、継続的に地域医療体制を堅持するため財源確保に努めるとともに、町立病院運営にあたっては、経営努力に徹し、住民ニーズにあった医療提供に努め、信頼される病院となるよう鋭意努力された。

代表監査委員

橋本 龍之

監査委員

木野山 孝志

指摘事項

1) 信用失墜行為の再発防止について

町民の福祉の向上と町政発展のため、目的意識をもって信頼の回復に努められたい。

2) 井関地区第2定住団地整備事業について

事業遅延の感が否めない、着実な事業推進を求める。

3) 地籍調査事業の停滞地区の解決について

早期完了にむけた取り組みを強化されたい。

4) 旧油木百彩館施設の活用について

提案されている実施計画を広く地域に広報し、期待され愛される拠点になるためにも、「要望及び提案」に応えられた拠点施設にされたい。

5) 収入未済額について

4年間右肩上がりで増加しており、多額である。不納欠損処理に至らないよう徴収努力を強く求める。

9月補正予算

一般会計補正予算総額 **4億1789万円** 一般会計補正後予算現計 **127億6926万円**
(四捨五入)

**コミュニティ施設
管理経費**
282万円

地籍調査事業
△3212万円
 交付金減額による
 事業の見直し

**子育て世帯生活支援
特別給付金給付事業**
140万円
 低所得の子育て世帯
 児童1人当たり一律5万円

病院事業会計補助経費
△1978万円
 政策医療交付金精算返還分

**令和5年7月豪雨災害
道路・橋梁 復旧工事**
1億9200万円
 道路 11件
 河川 2件

町道維持補修経費
4200万円
 支障木伐採 2000万円
 町道維持・補修 2000万円ほか

特殊詐欺防止対策電話機器の購入費用の一部を補助
 特殊詐欺や悪質な電話勧誘を防ぐため、特殊詐欺などを防止する機能がある電話機器購入費用の2分の1（上限1万円）を補助します。
 ※交付は未来創造課で申請手続きを行ってください。

住民課長 近田、草木、高光地区の一筆調査は予定通り実施する。上豊松地区の2年目の事業を予定している。現在、影響

柏床議員 3200万円減額で本年度の事業量に影響はでないのか。

地籍調査事業

総務課長 町に計画書は出ているが、まとまったものでなく土砂災害警戒区域にあり、県と協議している。県との協議がまとまったら早急に提出する。

久保田議員 旧三和民俗資料館の跡地に地元住民による利用計画が検討されているが、以前は校舎の解体費用、今回支障木の伐採予算181万円計上されているが、跡地利用計画書は議会に出さないのか。

普通財産管理運営経費

補正予算質疑

は無い。

自然公園等管理運営経費
帝釈峡神龍湖の眺望改善

林議員 矢不立城址（やたすじょうし）公園の支障木伐採は。

産業課長 現在、神龍湖が全く見えないような状態であり、竹・草・木を景色が一望できるよう伐採・枝打ちを行う。

道路維持補修経費

柏床議員 支障木伐採経費、4地区で2000万円計上だが、伐採計画は。

建設課長 スクールバス運行路線を優先して実施する。

一般質問

質疑の一部を要約してお伝えします



問 旧百彩館の改修計画と進捗状況は
柏床 由夫 議員

答 年内に設計を完了予定

問 旧百彩館の改修計画の進捗状況と、今後の計画は。

答 町長 施設改修設計事業者が決定し、「旧油木百彩館民営化再生協議会」からの提案内容をもとに基本設計に着手している。

新たな施設は、複数の事業者によるものづくりの拠点として活用を計画し、施設の外は、油木協

働支援センターが主催で開催されている出店者による朝市が引き続きできるように考慮しながら協議会の意見を伺い、設計作業を進めている。

問 設計の完了予定と、工事予定は。

答 町長 設計業務については12月末には業務完了する予定で、工事費を3月補正もしくは令和6年度当初予算に計上し、令和6年度中の改修工事の完成を予定している。

問 旧油木百彩館の新しい運営形態は。

答 副町長 運営形態は、指定管理者制度で運用する。

問 何年間の指定管理期間か。

答 産業課課長補佐 3年間を予定している。

問 指定管理者がまだ決定していない。「旧油木百彩館民営化再生協議会」へ丸投げの状況ではないか。

答 副町長 町が指定管理者を決定するが、今までの協議会の議論を尊重して指定管理者を決定する。

問 町は、課題をどの様に受け止めるのか。

答 町長 地元の方は、野菜などの販売の希望があり、月1回の軽トラ朝市を開催している。無人市場などの対応を考えては。

問 町長 提案していた形で具現化していくか油木協働支援センターと協議しながら進めて行きたい。

答 町長 提案していた形で具現化していくか油木協働支援センターと協議しながら進めて行きたい。



問 本年度学力テストの結果は
小川 善久 議員

答 確かな学力の定着は十分でない

問 本年度実施された、全国学力学習状況調査の結果とその対応策は。

答 教育長 小学校第6学年は、国語および算数を中学校第3学年は、国語、数学および英語について4月に実施した。本町と県平均との比較は、小学校では、国語1・8%、算数1・6%で、国語は県平均を上回った。

中学校では、国語1・5%、数学1・3%、英語1・9%で、3教科とも県平

均を下回った。この結果から、確かな学力の定着は十分でなかった。

今後の対策は、小中学校とも「原因と結果」「意見と根拠」など、情報の関係を理解させることや、複数の資料から答えを導き出すことなどの関連付けが必要である。

問 本町では英語教育に力を入れているが、いかに考えているか。

答 教育長 実際の場面設定を意識した授業を行うことが大切であると考え。

本町が行った暗唱大会では、自分の考えを英語で発表することや、オンラインで油木高校卒の留学生やオーストラリアへの短期留学生の話の聞くことにより、英語へより興味をもち身近に感じる取り組みを行っている。

中高連携は

問 油木高校では、進学率を上げる取り組みとことを考えている。連携は。

答 教育長 小中高の教員が一堂に会して、学習会など実施している。

問 幼稚園や保育所との横の連携が必要では。

答 町長 幼保小中高への繋がりは重要である。

情報共有し、連携をしながら進めていく。

答 教育長 「育てたい力」を共通認識とし、各学校での取り組みの情報を共有化する。



英語暗唱大会

問 町営施設の指定管理を議決事項に

林 憲志 議員



答 すでに議決事項である

問 町営施設の指定管理化や、民間との包括連携協定を議決事項に加えるべきでは。

答 町長 指定管理者の選定は、条例で規定され議決事項としている。民間との包括連携協定は、不利益協定はない。議決は不要、議会への説明は行っている。

予定 旧油木百彩館の

問 旧油木百彩館のリニューアル後に入店予定の力フエは。

答 町長 現在検討中ではあるが、国道182号沿い好立地を活かし、バイカー向け商品・サービス提供で新客層獲得、休日の収益増加を目指している。

墜落事故 ヘリコプター

問 昨年発生したヘリの墜落事故の原因と再発防止策の提示や町との協議・連絡体制は。

答 町長 基本的に町が行うのではなく、国土交通省運輸安全委員会が行うこととなっている。現在事故原因究明中である。

対策 野良猫・迷い猫

問 地域猫活動の取り組みは。

答 町長 犬の場合は狂犬病予防法で動物愛護センターが捕獲しているが、猫は法律上の扱いが異なり、動物愛護センターが捕まえることができない。地域猫活動の取り組みが広がっており、こうした情報を住民に提供している。

社会教育の行政の、協働支援センターへの移行

問 社会教育の協働支援センターとの連携は。

答 町長 町は行政と協働支援センターで生涯学習・社会教育を推進している。各協働支援センターが特色を活かし、教育の質・中立性・公平性に取り組み連携を強化している。

問 病後児保育の運営体制は

横山 素子 議員



答 近隣市町の状況を参考に検討中

問 対象年齢と利用範囲は。

答 子育て応援課長 対象年齢や利用料金は、

問 こばたけ保育所に新たに併設される病後児保育施設の運営体制は。

答 町長 子育て応援課配属の保健師、保育士各1人を基本に、通常勤務に加え対応にあたる予定。また、対応職員の病後児保育研修も実施する。



好評の軽トラ朝市

答 町長 令和5年度の入学者は地元中学校から36人で、町外からは25人である。進学率は町

問 対象年齢と利用範囲は。

答 町長 当初から「賑わい」を柱に計画を進めてきた。これからもぶれる事なく進めていく。

問 旧油木百彩館の再整備計画が進められているが、どのような施設ができるのか。特に油木地区周辺住民は不安に思っている。8月の軽トラ市ではお盆の花を求めて多くの方が並び、大盛況だった。このような住民の要望に応えられる施設にして頂きたい。

旧油木百彩館

問 早急に決めて保護者への説明も早くしていただきたい。

答 子育て応援課長 本年中には、条例や要綱などの整備を行う。

問 県立油木高校は、少子化に伴い、将来存続が危ぶまれるが、町外からの生徒を呼び寄せるとなる魅力化に取り組むべきでは。

答 町長 引き続き、油木高校の魅力化に向けた取り組みを支援していきたい。

内が59%、町外が41%となっている。はやぶさ塾や神ゼミの開設、また外部専門指導者の派遣や各種検定の補助、海外留学などの財政支援を幅広く行っている。町内の生徒数が減少しているのが課題だ。



問 ふれあいタクシー料金の見直しを
久保田 龍泉 議員

答 通院時の料金の見直しを指示

問 ふれあいタクシー料金は令和2年度から町内一律900円に改正されたが、物価高騰の中負担が増え料金の見直しを求める声がある。毎日病院でガーゼ交換や点滴が必要な人がおられタクシー代往復1800円を負担している。また、地域の老人会やサロン、認知症予防カフェなど行事にも同様に負担がある。料金の見直しを検討すべきでは。



ふれあいタクシーで通院

答 町長 高齢者の方の生きがいや健康づくりなどの活動や生活を支える移動手段として多くの方に利用いただいている。事業開始後利用が増え事業費が増加する状況が続くとともに、タクシー運賃の引き上げも重なり事業の継続のため利用料金の引き上げと利用回数の見直しを行った。

また、長引く物価高騰により利用者の方や多くの議員から通院時における料金の見直しについて要望をお聞きする機会が増えてきた。

議会報告会でも要望が出されたことは議長から報告を受けており、物価高騰により家計支援の意図から通院時における料金の見直しについて検討を指示した。今後住民の皆さまや事業者の方のご意見をお聞きし地域公共交通協議会で方向性を検討していきたい。

通いの場、認知症予防カフェなどについては、ふれあいタクシー事業とは別に介護保険の中で活用できる制度があるので検討したい。

答 総務課長 本年6月の運賃値上げにより財政負担も増えている。

町全体の公共交通見直しをするため11月～12月にかけて公共交通利用者にアンケート調査を実施する。



問 ナラ枯れ被害対策は
小川 清治 議員

答 必要に応じて被害対策を講じる

問 わが町のナラ枯れ被害の現状は。

答 町長 広島県が令和5年1月に作成した資料によると、令和2年までは0本、令和3年7本、令和4年116本と急激に被害が増えている。

問 ナラ枯れ被害の発生メカニズムは。

答 町長 ナラ類などの樹幹にカシノナガキクイムシが入り込むことで、ナラ菌が樹幹内で



ナラ枯れ被害の発生

播し、根から水を吸い上げる機能が弱まることで枯死する現象で、主に7～9月頃に被害が確認される。

問 ナラ枯れの被害対策は。

答 町長 カシノナガキクイムシを駆除する事が効果的で、薬剤くん蒸処理が一般的に行なわれる。

被害が拡大している中、広島県と連携を密にし、被害の発生状況を共有し、必要に応じて被害対策を講じる。

問 今年はさらに被害が拡大している。町内

の山林ではカシノナガキクイムシが穿入しフラスが大量に出た樹幹が多く見られ、今年枯れた木が沢山ある。

枯れた枝の落下や幹の倒壊による被害、景観の悪化、土砂災害防止、二酸化炭素の吸収、エサ不足による鳥獣被害、生物多様性の維持など、森林が持つ様々な機能の劣化をもたらすため、被害対策に早期に取り組むべきでは。

答 町長 広島県と連携を密にし、被害の発生状況を共有するとともに、必要に応じて被害対策を講じたいと考えている。

問 道の駅を「防災道の駅」として機能強化し整備、充実すべきでは。

答 町長 本町の「国土強靱化地域計画」で帰宅困難者対策に必要な施設として、道の駅の防災機能を整備する計画を盛り込んでいる。

広域的な防災拠点としての認定に向け、引き続き国土交通省や県と調整を進めたい。

問 防災道の駅への取り組みは

よりさだ ひでゆき 議員
寄定 秀幸



答 国土強靱化計画に基づき推進

環境保全型農業政策

問 気候変動対応農業の方向性と環境保全型農業への取り組みは。

答 町長 本年5月、「オーガニックビレッジ」を宣言し、「緑の食糧システム戦略」による環境に配慮した農業を推進している。

有害鳥獣対策

問 本格的な有害鳥獣対策を実施すべきでは。

答 町長 有害鳥獣対策協議会と協議し対策を実施してきた。

本年は、ドローンを活



箱ワナで捕獲したイノシシ

用した実証実験を予定している。

捕獲と自衛対策の両面の強化が必要であり、人材育成に取り組む。

GIGAスクール

問 GIGAスクール構想の現状と課題は。

答 教育長 一人一台端末の活用は授業を中心に行っている。

学校間の利用格差への課題もさまざまある。情報活用能力についても教員によって差がある。

各学校と連携し、現状をよく把握するとともに改善に向けた取り組みを進めたい。

国会要望および各省庁との合同勉強会

日付：7月27日・28日
場所：衆議院議員会館

国会へ要望書提出

入江町長と議員全員で、広島県選出の国会議員へ要望書を提出しました。

内容は、地方交付税所要額の確保、タクシー助成事業への財政支援など。

総務省・国土交通省

集落支援員など過疎対策の説明を受け、各地の地域交通の取り組みについての報告がされた。

担当課長は、数年前に神石高原町へ来られたこともあり、当町の実情はよく理解されていた。



農林水産省農村振興局

中山間地域の直接支払制度についての説明を受けた。神石高原町出身の井上課長補佐、中末係長も来られ、なるべく使いやすい事業にしたいと言われた。現在、各省庁とのつながりが密であるが、切れないように毎年合同での勉強会の必要性を強く感じた。





調査日：令和5年7月10・11日

総務文教常任委員会

買い物弱者支援

(高知県日高村)

日高村は、面積は44.85km²で人口約4800人、高齢化率は43.5%である。

買い物弱者支援の取り組みとしては、一部地域において、買い物宅配サービスを行っている。NPO法人に業務委託し利用者から一回100円の負担を頂き運営している。

配達時の会話により健康見守りや高齢者の孤立防止につながっている。課題は、利用者の増加や広範囲の移動になると運営が厳しくなる。また、支援者の確保や買い物支援事業費の増額の検討を行う必要がある。

このNPO法人は、名産のトマトを活用した加工品を作る事から始まり、さまざまな取り組みを行っているグループである。

「村まるごと」デジタル化

事業

(高知県日高村)

スマートフォンの普及率100%を目指している。

生活の質の向上に向けて、「健康」「防災」「情報」の分野に関して取り組みがすすめられている。

民間企業と連携し、健康アプリを開発し、歩数・血圧・体重・体調などが管理できる。



日高村での研修

現在のスマホ実質普及率は86%となっている。スマホ教室や体験会などを継続して開催しているが、参加者が少ないため、実施方法などの検討を行っている。

民間企業や住民からの寄付で、子どもたちによるまちづくり活動に助成を行っている。

こうちこどもファンド

(高知市)

応募は、市内在住の18歳以下の子ども3人以上(2世帯以上の子どもで構成される事)とサポートする20歳以上の大人2人以上が必要。住んでいる地域や学校の周りをもっと楽しく、暮らし易いところにする活動であることが条件。

子どもたちの提案が実際の活動へとつながり、子どもたちの視点に立った活動を支援していく事で、誰にとっても住みや

すく、優しいまちが築かれていく素晴らしい取り組みである。

★まとめ

買い物弱者支援については、本町は、ふれあいタクシー制度や見守り支援、民間事業者による移動販売が行われているが、根本的に買い物弱者支援対策を講じていく必要がある。

デジタル化の推進については、ウェアラブル端末を活用した予防医療が行われているが、スマートフォンの普及率を上げることも大事である。

今年度は、目標の200人を対象とした事業実施により、医療費削減へと結び付くよう期待する。

こうちこどもファンドの取り組みは、すばらしいが、本町では、次世代議会が行われているので、提案された施策の実現に期待する。



どう活かす

調査日：令和5年8月3・4日

産業建設常任委員会



西栗倉村大茅地区の小水力発電

農業用水路を活用した 小型低落差水力発電

(岡山県真庭市・西栗倉村)

① 真庭市蒜山吉森美田野地区

農業用水路を活用した小型
低落差水力発電

この地区の小型低落差用水
力発電は、真庭市がモデル的に
導入した事案。

水田耕作時期に使用する水
路から取水し落差2.4メート
ル出力は300～1000Wの
発電。

冬期は、融雪水路などに活
用するので、4月から10月まで

の稼働。メンテナンスはメー
カーが行い、水路の取水口の清
掃など維持管理は地元が行っ
ている。

全量売電し、一定額を地域の
活動資金として市が地元^{におおがや}に交
付している。

② 西栗倉村大茅地区

水力発電の開発企業が茅
地区活性化協議会の活動拠点
に隣接した頭首工からの用水
路に設置・試験発電を実施中
である。

仕様は、落差2.5m、流量
0.25m³/秒、定格出力1.5kw
で、全量売電している。

施設使用料として活性化協
議会に売電金額の一部を交付し、
地域の文化行事や交流活動な
どに活用され地域づくりに貢
献している。

太陽光発電パネル設置に 関する調査研究

(兵庫県加東市)



ブルーベリーのポット栽培

★まとめ

農業用水路を活用した小型
低落差水力発電は、中国電
力配線に系統連携での売電を
行っている。24時間の発電が可
能であり売電価格がソーラー
発電よりも高く利点である。

この地区の取り組みは、営農
型太陽光発電で、農地を活用
したソーラーシェアリングである。
15000m²の農地の頭上に
太陽光パネルを設置し、パネル
の下で農作物を栽培する方法
である。

この地区は、ソーラーパネル
の下にポット式ブルーベリー4
00ポット、遮光率45%で栽培
している。

の維持管理経費、地域活動の
取り組みなどに活用が期待で
きる。設置コストの課題はある
が、本町での水資源の有効活用
を図るため補助制度の創設を
含めて検討すべきである。

ソーラーシェアリングの取り
組みは、栽培する作物によつて
遮光率を調整する必要がある
が、新しい農地の活用方法とし
て今後期待できる。

要望書を提出

9月26日に、橋本議長、寄定副議長が入江町長に対し、議会からの要望書を提出しました。

内容

本年6月27日から30日にかけて実施した議会報告会・議員との対話集会での、貴重なご意見の中から、総務文教常任委員会、産業建設常任委員会に付託した案件について、調査、検討結果の報告があり、その報告書をもとに議員全員で協議し、次の事項について要望しました。

記

- 1 買い物支援として移動販売車の維持管理経費を含めた補助を行うこと。
- 2 畜産農家の飼料価格高騰対策として、町独自の補助を追加すること。
- 3 予算、人的整備を含め、有害鳥獣対策の強化を図ること。



町長・副町長へ要望書を提出する議長・副議長

条例制定・改正

こんなことが決まったよ 主な条例の一部改正



財産の取得

物品名：消防ポンプ自動車（CD-1型）
 所在：三和方面隊第2分団第2部
 契約金額：2360万円
 契約者：有限会社サンワオートサービス
 納期：令和6年6月30日

全会一致

物品名：架装トラック1.35t（配送車）3台
 所在：三和給食共同調理場
 契約金額：2099万円
 契約者：有限会社神石ミニカー商会
 納期：令和6年7月31日

全会一致

工事請負契約の締結・変更

工事名：神石小学校体育館改修工事
 理由：工事前の調査で分からなかった雨漏りに係る追加工事

請負金額：6585万円を7158万円に変更
 請負者：株式会社道下工務店
 工期：至 令和5年12月28日

全会一致

指定管理者の指定

施設名：神石高原町立くるみ保育所
 指定管理者：社会福祉法人東城有栖会
 期間：令和6年4月1日から令和11年3月31日

賛成多数

施設名：神石高原町立病院
 指定管理者：社会医療法人社団陽正会
 期間：令和6年4月1日から令和11年3月31日

全会一致

神石高原町長及び議会議員選挙の公費負担の一部改正

内容：選挙運動用自動車借入れ 燃料費 選挙運動用ビラ・ポスター作成

全会一致

議員賛否表（賛否の分かれた議案のみ）

○=賛成 ×=反対 欠=欠席

| 議案名 | 寄定秀幸 | 藤田晃己 | 木野山孝志 | 小川清治 | 久保田龍泉 | 横山素子 | 林憲志 | 小川善久 | 柏床由夫 | 橋本議長 |
|---------------------|------|------|-------|------|-------|------|-----|------|------|------|
| くるみ保育所の指定管理者の指定について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | - |

議長は採決に加わらない

議員発議

教職員定数の改善及び
義務教育費国庫負担制
度の負担割合引き上げ
を求める意見書

教育環境改善と、学校の働き方改革を実現するため、加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善と、教育の機会均等と水準の維持向上を図るため義務教育費国庫負担制度の負担割合の引き上げること。

提出者 柏床 由夫 議員
賛成者 木野山孝志 議員

まちの声

議会クイズの解答と共に寄せられた要望・意見・感想など主なもの

●いつも広報を送っていたいただき有り難うございます。駅家の方においてもジンセキのいろい로운ニュースがよくわかって楽しみです。これからもよろしくお願いします。ますますの神石の活性化を応援していきます。

●豊かな人づくりのためにどんな神石で能力を発揮できる人をUターンさせ力を役立てて頂きたい。まずは人口増加に力を入れて頂きたいと思えます。

●夏もまっさかりになりました。熱中症に負けないで頑張りましょう。

空欄に適切な言葉を
入れてください

第58回 議会クイズ
GIKAI QUIZ

- ① 一般会計・特別会計を黒字で〇〇認定
- ② 〇〇〇〇保育所の指定管理
- ③ 〇〇〇〇タクシー料金の見直しを

 ヒント 議会広報をよく読んでね!

●応募方法

ハガキに「答え・住所・氏名(ふりがな)・年齢」議会への要望・ご意見なども記入してください。(メールFAX可)
正解者多数の場合は厳正な抽選により、1人の方に5000円分のこうげん通貨券をお送りいたします。

応募は、1人・1通に限らせていただきます。

●あて先

〒720-1522 神石高原町小島1701番地
神石高原町議会事務局「第58回議会クイズ係宛」

●FAX 85-4201

●メールアドレス jk-gikai@town.jinsekikogen.hiroshima.jp

●締め切り ・はがき 令和5年11月10日(金)消印有効
・メール 令和5年11月10日(金)17時締切

●個人情報の取り扱いについて

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送および『まちの声』などの目的以外には利用いたしません。



第57回
議会クイズ当選者

神石地区 横山 寿恵さん

おめでとうございます!

クイズの答え

議会クイズにたくさんのご応募ありがとうございました。皆様からいただいた声を受けとめ、前向きに取り組んでいきます。

- ① こうげん 通貨贈呈
- ② 議員との対話 集会
- ③ 第3セクター 経営 状況

油木協働支援センター

生涯学習・社会教育の拠点に

油木協働支援センター分室「にしかわ」では、「小さな展示室」として分室の一室を開放しています。これは地域の方々の学習活動の成果や趣味・コレクションの発表の場として設けたもので、令和3年6月以来「化石標本」「昆虫標本」「玩具・おまけ」「レコード・雑誌」「高校野球」など、様々な分野の「学びや蒐集の成果」を展示してきました。

これらは、「生涯のいつでも自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価され生かされる」という「生涯学習社会」を微力ながら具現化しようとするものです。

今年度は8月より「山田寿秀 広島東洋カープ福山応援団元团长」の協力で、「赤ヘル軍団激闘

の記憶展」を11月6日(月)まで開催しています。まさに生涯をかけて応援団としてカープ球団や選手と関わってきた50年にもおよび記録です。(破れた応援太鼓・応援ハッピーなど、本物ならではの存在感です)

期間中には新聞社の取材もあり、新聞を読んだ町内外の方々が何組も「にしかわ」を訪れ、山田氏の活動の記録に感激されていました。

「にしかわ小さな展示室」が、新たな気づき・学び・活動への動機付けとなり、地域の方々のより主体的な学びや活動に貢献できればと思います。

※過去の展示会の様子は、油木協働支援センターのホームページで紹介しています。



表紙の紹介



地域おこし協力隊の原冬次郎さんと、森野杏菜さん。備後ジビエ製作所で有害鳥獣の解体処理の実習をしています。

編集後記

今年も、暑い長い夏でしたね。米の収穫も終わり、紅葉の時期を迎えました。

9月議会では、令和4年度の決算について審議しました。

新型コロナウイルス感染症が5月から第5類に移行になり、議会活動もほぼ平常時に戻りました。

わかりやすい紙面づくりに今後努力していきます。(柏)

議会広報常任委員会

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 小川 善久 |
| 副委員長 | 柏床 由夫 |
| 委員 | 橋本 輝久 |
| 委員 | 寄定 秀幸 |
| 委員 | 久保田 龍泉 |

発行責任者 議長 橋本輝久

住所 広島県神石郡神石高原町小島一七〇一

TEL 0847-89-3340

FAX 0847-85-4201